

1 学校経営の基本方針

日本国憲法、教育基本法、都（教育施策大綱）、「あなたとつくるまち 八王子市の学校教育 基本原則 ～これからの八王子市の学校教育～」の趣旨を踏まえ、公教育の果たすべき使命を自覚し、子どもたちが自分らしさを発揮し、未来に対して夢をもって生きることできる力（生きる力）の育成と、社会の在り方が劇的に変わり予測困難な時代の中で、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう（知育）（徳育）（体育）の調和のとれた人間の育成を柱として、小中一貫教育グループと協働し「八王子版 GIGA スクール構想」の具体的な施策を進めながら、プロの教育者集団としてその職責を果たす。

2 学校教育目標

- ◎進んで学び、向上をめざす生徒 （自学）
- ・共に助け合い、思いやりある生徒 （共生）
- ・心身を鍛え、最後までやり遂げる生徒（自立）

3 基本理念

「学校は生徒のためにある」～楽しく、別れを惜しみ、登校することが待ち遠しくなる場

このことを基本として、教育活動を推進する

- ・生徒にとって、わかる授業、学ぶ喜びを実感できる
～楽しい学校となる
- ・保護者にとって、安心して通わすことができる、子どもの成長が期待できる
～信頼される学校となる
- ・地域にとって、子どもたちの元気があふれ・未来に向かい羽ばたき輝く心をもち生活している姿
～郷土の活力を育み、生涯を通して学ぶことのできる学校となる
- ・教職員にとって、教育理念に燃え、プロとして自覚し充実感をもって働く
～個性や想像力を伸ばす学校となる

以上を基本理念とし、知育・徳育・体育の調和のとれた生徒の育成を目指す。

4 目指す学校像

『生徒（夢）、保護者（願い）、地域（思い）の信託に応える』～チーム鑑水中～

- ・「生き生きと明るく元気で、笑顔あふれる 鑑水中学校」
- ・「いじめや暴力のない一人一人にとって心休まり、居心地のよい 鑑水中学校」
- ・「広い視野をもち、積極的に社会に貢献しようとする 鑑水中学校」
- ・「誰一人取り残すことのない、公正に個別化された学びができる 鑑水中学校」

5 目指す生徒像

- ・人権尊重の精神をもち、自他の敬愛ができる生徒。
- ・自らよく学び、的確な判断力、行動力、実践意欲のある生徒。
- ・社会の一員として自覚し、礼儀を重んじ、公德心や規範意識のある生徒。
- ・感謝の気持ちと謙虚な心を大切にできる生徒。
- ・自己実現を図ろうと、常に努力を惜しまず、個性や創造力の伸長を図る生徒。
- ・八王子市民として、身近な郷土学習をとおして地域への愛着や発展に寄与する生徒。

6 目指す教師像

- ・教育公務員としての自覚と、教育に対する熱意と使命感をもつ教師。
- ・教師の専門性に対する探究心と指導力のある教師。
- ・組織の一員として責任感と協調性を有し、互いに高め合う教師。
- ・保護者・地域・外部機関と連携・協働による教育を推進する教師。
- ・地域の特性を生かし、地域を愛し、八王子でなければならない教育活動を行う教師。
- ・積極的に ICT 機器を活用した授業展開が行える教師。

7 中期的な目標と方策

（１）学力の向上に関すること～確かな学力「進んで学び、向上をめざす生徒」の育成方針

【学習指導の充実】

- 1) 小中で一体となった教育活動で、「わかる喜び」「できた達成感」を体得しながら、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせます。
- 2) 生徒が互いに学び合う授業や体験的な学習活動を取り入れた授業など、主体的・対話的で深い学びを通じて、「何ができるようになるのか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」の視点から知識・技能、思考力、判断力、表現力等学びに向かう力の育成を進めます。
- 3) 各自の「習得目標問題を確実に解くことができる」「八王子ミニマムの確実な定着」を指標にし、「GIGA スクール構想」での端末を用いた家庭学習の充実を図り、確かな学力を身に付けさせます。
- 4) 読書活動を励行し、言語活動の充実を図り、習得・活用・探求の学びの中から、知識を生かし「見方・考え方」を働かせ、情報を精査し、課題解決力の育成を図ります。
- 5) 学校運営協議会の協力のもと、長期休業中や定期考査前の放課後の学習教室等を活かし、公正に個別最適化された学びで、一人一人の生徒への支援体制の充実を図ります。
- 6) 修学旅行、職場体験、学校行事等を通して、PBL（課題解決型学習）を行うことで、生徒自ら課題を見出し、探求する力及び自己の生きる力を育成します。

【特別支援教育の充実】

- 1) 「八王子版 特別支援教室運営マニュアル」を踏まえ、特別支援校内委員会、特別支援教室専門員、巡回心理士との連携を密に図り、個に応じた多様な支援体制の確立と合理的配慮のもとで、指導の工夫と充実を図ります。
- 2) 特別支援学校との連携（副籍交流等）や特別支援教育の専門性の向上を図る研修を通じて、インクルーシブ教育を推進します。

【個別対応の推進】

- 1) h y p e r-Q U の分析活用を行い、より良い集団形成で充実した学校生活に努めます。
- 2) 教育相談機期間を設定し、生徒理解の充実を図るとともに、保護者、SC 等と連携、学校で行える個別最適な環境を整備します。
- 3) 「つながるプラン」「COCOLO プラン」の趣旨の具現化のため、支援ニーズの把握と組織的な対応、居場所の確保により、未来につながる中・長機的な支援を目指します。
- 4) 登校支援コーディネーターを中心に学校サポーターを活用し SSW や SC との連携を図り、一人ひとりに寄り添った支援体制を構築します。

【キャリア教育の充実】

- 1) 変化の激しい社会に生きるために、自己肯定感を高めさせ、自己の「生き方」について考え、主体的に社会に関わる力を身に付けさせます。
- 2) 各教科等で身に付けた学力を活用し、探究的で体験的な学習活動を通じてコミュニケーション力を高め、キャリア教育を推進します。
- 3) 望ましい社会性や職業観・勤労観の育成のため、小中一貫したキャリア教育を踏まえ、「はちおうじっ子キャリアパスポート」を活用し、意欲的に学習に取り組みます。

【小中一貫教育の推進】

- 1) 鑑水中学校グループ（鑑水中・鑑水小・由木西小）で 9 年間の総合的な教育で目指す児童・生徒の育成方針
・夢と希望をもち、自らすすんで考え、学び、正しく行動できる児童・生徒
・郷土に誇りをもち、自分と他者を大切にすること豊かな児童・生徒
・心身ともに健康で、粘り強く取り組む児童・生徒
の一体となった教育活動を進めます。
- 2) 小・中学校の義務教育 9 年間を見通した教育計画を作成、実践し、共通した生活指導（鑑水スタンダード）を行います。また、「小中学生の交流」「小中一貫教育の日」の更なる充実を図ります。
- 3) 八王子市民として身近な郷土学習を系統的に学び、「地域の子どもは地域で育てる」意識を共有し、地域の発展や地域への愛着（郷土愛）等を培います。
- 4) 部活動に小学生も参加する方策を検討する。広域部活動においては、合同練習を中心に実施するとともに、市の部活動改革への取組を推進していく。

（２）健全育成に関すること～豊かな心「共に助け合う、思いやりのある生徒」の育成方針

【人権教育の推進】

- 1) 自他の人格を尊重する精神と規範意識の醸成を図ります。
- 2) いじめや差別、偏見（LGBTQ 等への配慮）は基本的人権の侵害であるとの確固たる認識に立ち、根絶を図ります。
- 3) エビデンスに基づく個に応じた指導、支援を充実させ、生徒を通じて心身ともに健康かつ安全な生活を送るための資質・能力を育成します。
- 4) 言語環境を整え、正しく適切な言葉づかいと日本語のもつ美しさを指導します。

【道徳教育の推進】

- 1) 全教育活動を通じて道徳教育を充実させ、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成します。
- 2) 自他を敬愛する態度を育み、思いやりと日本人としての自覚を高め、国際社会の中で貢献出来る生徒の育成を図ります。

- 3) 道徳の時間の指導方法の工夫改善や評価についての研究を行い、人間として、「よりよく生きる」ことを求める態度を育成します。
- 4) 宿泊的行事や職場体験、ボランティア活動など豊かな体験を通じて、家庭や地域と協働し、一貫した道徳教育を推進します。

【生活指導の充実】

- 1) 鑑水5項目「挨拶をしっかりとしよう」「時間を守ろう」「身だしなみをきちんとしよう」「人の話を聞く、相手を思いやろう」「美しい学習環境にしよう」の指導を徹底します。
- 2) いじめ総合対策を効果的に実行するため、子どもと直接向き合う時間、(担任以外の教員との二者面談「シルクタイム」)を設定し、生徒が相談しやすい環境を整備し、いじめの「未然防止、早期発見、早期対応」に努めます。
- 3) 生徒の自主性を重んじ、責任感を養い、自律した学校生活が送れるように努めます。
- 4) 「楽しく、別れを惜しみ、登校することが待ち遠しくなる学校」を目指し、学校不適應に陥った生徒へは、SC やS SW、「心の教室」等の相談活動の活用を図り、家庭・関係諸機関との連携を密に粘り強く対応します。
- 5) 情報モラル(SNS の利用の学校・家庭のルールを常に確認)や、薬物乱用防止教育、不審者対応等さまざまな危険回避能力の育成を進めます。

(3) 安全及び健康づくりに関すること～健やかな体「心身を鍛え、最後までやり遂げる生徒」の育成方針

【安全教育の充実】

- 1) 誰からも大切にされている実感をもたせるとともに、困ったときに相談できる大人の存在やS O S の出し方教育の実践を行い、「かけがえのない生命の大切さ」についての教育を充実させます。
- 2) 安全指導計画に基づき、計画的、組織的な安全教育を推進します。
- 3) 多様な災害を想定した避難訓練を実施し、防災、減災、危機回避能力を身に付けさせると共に、地域の一員として実践できる力を育成します。
- 4) 日常的な定期点検、安全管理を徹底し、安心・安全な学校づくりに努めます。

【健康教育の充実】

- 1) 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、「新しい生活様式」の中で、心と体のバランスの取れた健康増進を図ります。
- 2) 学校保健計画等に基づき、適切な生活習慣、望ましい食習慣の確立に、家庭と連携を図りながら推進します。
- 3) 定期健康診断等の結果に基づき、家庭と連携した健康管理、保健指導を行います。
- 4) 学校保健委員会等を通して、学校医、学校薬剤師と連携した健康教育に取り組みます。

【環境美化活動の充実】

- 1) 日常の清掃活動を重視し、また環境美化デー(週間)を設定し、安全で清潔な学習環境の維持に努めます。
- 2) 持続可能な社会の構築を目指し、限りある資源の有効利用を通じて、3R(リデュース(物を大切に使いごみを減らす)、リユース(使えるものは繰り返し使う)、リサイクル(ごみを資源として再利用する))の取り組みやエシカル消費への取り組みを通じて、SDGs の目標達成を推進します。

（４）特色ある学校づくりに関すること～義務教育９年間を見通した小中一貫教育の取組

【特色ある教育活動の充実】

- 1) 鑑水中グループの６年生が一日中学校生活体験を行う「プレ中学生プロジェクト」や部活動体験、合唱コンクールの活動に小学生も参加させる。また、「学力定着プロジェクトチーム」が中心となり、リトルティーチャーとして指導に当たります。
- 2) 親子方式による学校給食を通して食育を推進し、日本の伝統的な食文化の良さを理解し、それを受け継ぎ、日本人としての誇りをもち、日本の文化を国内外に発信できる力を育成します。
- 3) 鑑水中 2020 レガシーとして、ボランティア・マインドの醸成や生涯にわたりスポーツに親しみ、健康増進を図り、日本人としての自覚と誇りを高め、自ら学び行動できる国際感覚をもった生徒の育成を図ります。
- 4) ESD（持続可能な開発のための教育）を推進し、社会に貢献しようとする意欲や他者を思いやる心などボランティア・マインドの醸成と、共生社会の一員としての自覚と行動力を培い「誰一人取り残さない」を合言葉にSDGsの目標達成を推進します。

（５）家庭・地域に関すること～保護者の願い、地域の思いの信託に応える学校

【保護者・地域・関係諸機関との連携】

- 1) 各種の教育活動、学校行事等に外部人材を積極的に活用します。
- 2) 学校評価（学校運営協議会、学校関係者評価等）を活用し、PDCA サイクルで活性化を図ります。
- 3) 教育委員会をはじめ、子供たちの健全育成を支える関係機関との連携を図ります。
- 4) 学校ホームページや各種のたよりによる情報発信を積極的に行います。
- 5) 「地域とともにある学校」として、生徒の豊かな成長を、保護者と地域とが知恵を出し合い、地域運営学校（コミュニティ・スクール）として特色ある学校づくりを目指します。

（６）教職員に関すること～教育公務員（プロ）としての自覚と責任ある職務を遂行する

【研修の充実】

- 1) 若手、中堅、ベテランの教職員が共に学び合う校内 OJT を推進します。
- 2) 都教職員研修センター、八王子市主催の研修会の受講や自己研鑽により、一人一人の資質・能力の開発に努めます。
- 3) 小中一貫教育の推進を図るため、小中合同の授業研究等を実施し、義務教育９年間を見通した教育活動への取り組みを推進します。
- 4) 定期的に服無事故防止の研修と点検を行い、職責を果たします。

【服務の厳正】

- 1) スクールコンプライアンスの遵守を徹底させ、生徒、保護者、地域からの信頼を得ます。
- 2) 学校の施設・設備は市民の財産であることを常に意識し、教育効果が最大限に活かされるよう、計画的な予算の執行やコスト削減に努め、市民の期待に応えます。

8 今年度の取組目標と方策

(▲＝教育活動の目標と方策、◎、太文字、下線部＝重点目標と具体的な方策)

(1) 学力の向上に関すること～確かな学力「進んで学び、向上をめざす生徒」の育成方針

【学習指導の充実】

▲ 小中で一体となった教育活動で、「わかる喜び」「できた達成感」を体得しながら、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせます。

◎各自の「習得目標問題を確実に解くことができる」を指標にし、定期考査の結果、市の調査の結果とその分析、授業改善プラン等の取り組みを通じて、一人一人に応じた学力向上計画の策定と具体的な指導・助言を与えます。

▲生徒が互いに学び合う授業や体験的な学習活動を取り入れた授業など、主体的・対話的で深い学びを通じて、授業の改善を進めます。

・アクティブラーニングなど多様な学習活動を通じて授業を創造し、生徒の深い理解の実現を目指します。

▲習熟度別指導や土曜授業、放課後の学習会等を活かし、個に応じた支援体制の充実を図ります。

◎「GIGA スクール構想」を具体化するために、ドリル型の学習コンテンツを取り入れ、端末を用いた家庭学習の充実を図り、個別最適な学び及び協働的な学びを通じて、確かな学力を身に付けさせます。さらに放課後の学習教室や長期休業期間の学習教室等の機会を活用し、確かな学力の向上を目指します。

▲修学旅行、職場体験、学校行事等を通して、PBL（課題解決型学習）を行うことで、生徒自ら課題を見出し、探求する力及び自己の生きる力を育成します。

【特別支援教育の充実】

▲支援シートを活用し、個に応じた多様な支援体制の確立と合理的配慮のもとで、指導の工夫と充実を図ります。

・生徒本人や保護者、生活指導部、特別支援校内委員会等の連携を図り、情報を共有し、個に応じた指導計画の作成と実態に応じた指導を推進します。

【個別対応の推進】

▲h y per-QU の分析活用を行い、より良い集団形成で充実した学校生活に努めます。

・「つながるプラン」「COCOLO プラン」の趣旨の具現化のため、支援ニーズの把握と組織的な対応、居場所の確保により、未来につながる中・長機的な支援を目指します。

▲登校支援コーディネーターを中心に学校サポーターを活用したり SSW や SC との連携を図ったりし、一人ひとりに寄り添った支援体制を構築します。

【キャリア教育の充実】

▲変化の激しい社会に生きるために、自己肯定感を高めさせ、自己の「生き方」について考え、主体的に社会に関われる基礎を身に付けさせます。

・9年間を見通し一貫したキャリア教育の実践を踏まえ、「はちおうじっ子キャリアパスポート」を活用し、職場体験などの学習を通して、社会との関わりの中で自らの「生き方」について考えさせます。

【小中一貫教育の充実】

▲鑑水中学校グループ（鑑水中・鑑水小・由木西小）で9年間の総合的な教育で目指す児童・生徒の育成

方針 ・夢と希望をもち、自らすすんで考え、学び、正しく行動できる児童・生徒

・郷土に誇りをもち、自分と他者を大切にできる心豊かな児童・生徒

・心身ともに健康で、粘り強く取り組む児童・生徒

の一体となった教育活動を進めます。

・小学校と連携し、出前授業や研究、実践を通じて、小中9年間の指導計画の作成を進めます。

◎市の学力調査の経年変化を分析し、個別最適な学びとして「習得目標問題を確実に解くことができる」力の育成を図ります。

◎家庭や地域の理解や協力を求め、八王子市民として身近な郷土学習を系統的学び、地域の発展や地域への愛着（郷土愛）等を培います。

（2）健全育成に関すること～豊かな心「共に助け合う、思いやりのある生徒」の育成方針

【人権教育の推進】

▲自他の人格を尊重する精神と規範意識の醸成を図ります。

・人権教育計画に基づき、自他の人格の尊重と思いやりの心を育むため、学級活動や道徳の時間の充実を推進します。

▲いじめや差別は基本的人権の侵害であるとの確固たる認識に立ち、根絶を図ります。

◎「いじめはどここの学校にもある」との認識をもち、いじめ総合対策を効果的に実行するため、「学校いじめ対策委員会」を開催し、常に生徒の言動を注意深く観察し、SC、SSW、「心の教室」等の相談活動を活用したり、教育相談の工夫、アンケート調査の活用を図ったりし、未然防止・早期発見・早期対応等組織的な対応に徹します。

【道徳教育の推進】

▲全教育活動を通じて道徳教育を充実させ、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成します。

・校長をはじめすべての教職員が、自分の得意分野を生かした指導実践を行います。

▲道徳の時間の工夫改善や評価についての研究を行い、特別な教科（道徳科）の充実に向けた取り組みを推進します。

◎本校の実態を受け、内容項目「思いやり、感謝」「生命の尊さ」「勤労」等を指導の重点とし、多面的・多角的に考え、議論し合う中で、道徳的な判断力・心情、実践意欲と態度を身に付けさせます。

【生活指導の充実】

▲鑑水5項目「挨拶をしっかりとしよう」「時間を守ろう」「身だしなみをきちんとしよう」「人の話を聞こう、相手を思いやろう」「美しい学習環境にしよう」の指導を徹底します。

◎「いじめや暴力のない一人一人にとって心休まり、居心地のよい学校」づくりのため、生徒会や委員会活動を通じて自治を育み、学校生活の充実を支援します。

・常に生徒の変化を敏感に察知できる洞察力を磨くと共に、情報の共有や組織として対応し、生徒の安全・安心の確保に努めます。

▲「楽しく、別れを惜しみ、登校することが待ち遠しくなる学校」を目指し、学校不適應に陥った生徒へ、SC、SSWの活用や、家庭・関係諸機関との連携を密に図り対応します。

◎「QU」を活用し、一人一人の状況や人間関係を全教職員が的確に把握し、家庭との連携やSC、SSW等関係諸機関との連携、指導、助言を受けながら、個に応じた適切な対応に努めます。

(3) 安全及び健康づくりに関すること～健やかな体「心身を鍛え、最後までやり遂げる生徒」の育成方針

【安全教育の充実】

- ▲情報モラル（SNS の利用の学校・家庭のルールを常に確認）や薬物乱用防止教育、不審者対応、性犯罪・性暴力等さまざまな危険回避能力の育成を進めます。
- ・具体的な避難訓練を通じて危険予知や危険回避能力を高めると共に、万一の災害発生時では、地域の一人として積極的に弱者を支援することのできる生徒に育てます。

【健康教育の充実】

- ▲学校保健計画等に基づき、適切な生活習慣、望ましい食習慣の確立に、家庭と連携を図りながら推進します。
- ・「早寝、早起き、朝ご飯」の習慣を大切にし、適度な運動と休養の健康三原則を家庭や地域と連携を図りながら推奨し、健康の保持増進と体力向上に努めます。
- ・飲酒、喫煙、薬物乱用防止について、学校での指導を踏まえ家庭と連携した指導を徹底します。

【環境美化活動の充実】

- ▲E S Dを推進し、日常の清掃活動を重視し、また環境美化デー（週間）を設定し、安全で清潔な学習環境の維持に努めます。
- ・全校で安全で清潔な学習環境の維持に努めると共に、生徒会活動や青少年対策育成委員会の地域美化活動に積極的に参加させ、ボランティア・マインドを醸成させます。

(4) 特色ある学校づくりに関すること～義務教育9年間を見通した小中一貫教育の取組

【特色ある教育活動の充実】

- ◎鑑水中グループの6年生が一日中学校生活体験を行う「プレ中学生プロジェクト」や部活動体験、合唱コンクールの活動に小学生も参加させる。また、「学力定着プロジェクトチーム」が中心となり、リトルティチャーとして指導に当たり、小中が一体となった教育活動を推進していきます。
- ▲E S D（持続可能な開発のための教育）、SDG s（持続可能な開発目標～17）の取り組みを推進し、「持続可能な社会の創り手」の育成を目指すと共に、社会に貢献しようとする意欲や他者を思いやる心などボランティア・マインドの醸成と、「誰一人取り残さない」を合言葉として、共生社会の一員としての自覚と行動力を培います。
- ▲鑑水中 2020 レガシーとして、日本人としての自覚と誇りを高め、自ら学び行動できる国際感覚をもった生徒の育成を図ります。
- ▲オリンピック・パラリンピック教育を推進し、スポーツに親しみ、日本人としての自覚と誇り、自ら学び行動できる国際感覚をもった生徒の育成を図ります。
- ・「鑑水中から世界へ（レガシー）」として、4（オリンピックの精神、スポーツ、文化、環境）×4（学ぶ、観る、する、支える）の取り組みを推進します。特にボランティア・マインドの醸成に重点を置きます。

（５）家庭・地域に関すること～保護者の願い地域の思いの信託に応える学校

【保護者・地域・関係機関との連携】

- ▲各種の教育活動、学校行事等に外部人材を積極的に活用します。
 - ・市人材バンク、青少対、町会、地域の特技等をもっている方々を積極的に授業や特別活動に活用し、学習活動を充実させます。
- ▲学校ホームページや各種のたよりによる情報発信を積極的に行います。
 - ・学校 HP のタイムリーな情報発信をはじめ、学年だよりやその他学校の現状を広く地域へ広報し、「おらが学校」として信頼を得ます。
- ▲「地域とともにある学校」として、生徒の豊かな成長を、保護者と地域とが知恵を出し合い、地域運営学校（コミュニティ・スクール）として、地域に根付いた誇れる学校を目指します。

（６）教職員に関すること～教育公務員（プロ）としての自覚と責任ある職務を遂行する

【研修の充実】

- ▲若手、中堅、ベテランの教職員が共に学び合う校内 OJT を推進します。
 - ・専門性向上研修や各主任研修、リーダー育成研修等を通じ教育のプロとして資質・能力の育成を図ります。また、多様な OJT を実施し、若手育成と個々のスキルアップに努めます。
- ▲小中一貫教育の推進を図るため、出前授業の実施や小中合同の研修会、授業研究等を実施し、義務教育９年間を見通した教育活動への取り組みを推進します。

【サービスの厳正】

- ▲スクールコンプライアンスの遵守を徹底させ、生徒、保護者、地域からの信頼を得ます。
 - ・具体的な事例を参考に服務事故防止の取組を行うだけでなく、「チーム鍵水中」として、相互に気付いたことを言い合える職場環境をつくります。